

### 認知症の人の人権

内閣府の調査によると、平成24（2012）年は認知症患者数が462万人と、65歳以上の高齢者の7人に1人（有病率15%）でしたが、平成37（2025）年には約700万人、5人に1人となると見込まれています。

理由のあることかもしれません。介護に当たる家族、ヘルパーはもちろん、地域ぐるみで認知症の特質を正しく理解し、適切な対応をしていくことが認知症の人の人間としての尊厳を守っていくことにつながると思います。

#### 〈認知症の人の人権〉

認知症の人に『人』として人権があることはいうまでもありません。認知能力の一部が損なわれると、人は周りから見れば理解のできない行動をとることがあります。そのことから周りの人たちは、しばしばその人の全人格が失われてしまったと考えますが、これは誤りです。

実際には、たとえ認知能力の一部に支障をきたしていたとしても、多くの場合感情などが失われているわけではありません。プライドを傷つけるような態度を取られれば、悲しい気持ちになったり、怒りを感じたりするのは当然です。

それが原因で様々なトラブルも発生しますが、それは本人にとっては

#### 〈新オレンジプラン〉

平成27（2015）年1月27日、政府は省庁横断で認知症対策に取り組む総合戦略として「新オレンジプラン」を策定しました。正式名称は「認知症施策推進総合戦略」です。

『認知症の人の意志が尊重され、できる限り住み慣れた地域の良い環境で自分らしく暮らし続けることができる社会の実現を目指す』ことを基本的な考え方として、中核となる「7つの柱」が示されています。

- ① 認知症への理解を深めるための普及・啓発の推進
- ② 認知症の容態に応じた適時・適切な医療・介護の提供
- ③ 若年性認知症施策の強化
- ④ 認知症の人の介護者への支援



⑤ 認知症を含む高齢者にやさしい地域づくりの推進

⑥ 認知症の予防法、診断法、治療法、リハビリテーションモデル、介護モデル等の研究開発及びその成果の普及推進

⑦ 認知症の人やその家族の視点重視

#### 〈第6回みんなの人権セミナー〉

大山町では11月18日（土）、大山支所で「若年認知症の妻と生きる日々」をテーマに、前田好子さんをインタビュアーに、亀尾栄司さんからお話をうかがいます。

たくさんのご参加をお持ちしています。

（参考：「高齢者と人権」人権教育啓発推進センター）

### 大山町みんなの人権セミナー

## 「若年認知症の妻と生きる日々」

- ◆日時 11月18日（土） 13時～15時
- ◆場所 役場大山支所
- ◆語り手 亀尾 栄司さん  
 インタビュアー 前田 好子さん  
 （鳥取県若年認知症サポートセンター長）
- 申込み先 人権推進室（人権交流センター内）  
 ☎ 0859-54-2286 / FAX 0859-54-2413
- 【主催】 大山町、大山町教育委員会、  
 大山町人権・同和教育推進協議会

【内容】 若年認知症を発症した妻を介護している栄司さん。認知症の気づきから現在にいたるまで、そしてこれからについてを語っていただきます。

【その他】 ①小学校入学までを対象に託児を設置します。希望される場合は、開催日の4日前までにお子さんのお名前・年齢を添えて、人権推進室に申し込んでください。  
 ②手話通訳などを希望される場合は、人権推進室に申し込んでください。  
 ③この講座は、とっとり県民カレッジの連携講座です。